

# くすのき



岡本小学校 学校だより

No. 4

令和3年5月25日

『生き生き学校』

《学校教育目標》 夢に向かって未来を拓く『おかもとの子』の育成



## ペッパー君と道徳授業

5月21日（金）、岡本小学校にペッパー君がやってきました。3・4年生の「特別の教科道徳」の授業のために、ペッパー君はやってきました。子どもたちは、朝からワクワクです。3・4年生以外の子どもたちも、「ペッパー君はいますか？」と、職員室を訪ねるほどの人気でした。

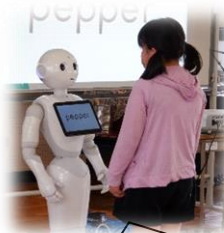
「今日は『親切と思いやり』について、ペッパー君と一緒に学習します。みなさんは、『親切と思いやり』について、どんなことを知っていますか？」  
こんな問いかけで、授業が始まりました。

「ぼくにもできること、得意なことがあるよ。  
それは英語でお話すること。そして早口言葉。」



「でも、苦手なこと、不安なこともあるんだ。  
ぼくは、段差や階段が苦手なんだ…。」

「段差や階段が苦手なペッパー君に、何ができるかな？グループで話し合ってみよう。」



- ・エレベーターや台車を使う
- ・段ボールや板でスロープをつくる

- ・2～3人で協力して運ぶ
- ・手をつないで「がんばれ」と声をかける

「ペッパー君のことを一生懸命に考えてくれて、ペッパー君はとても喜んでたね。でも、もしペッパー君ではなく、町で出会った知らない人が困っていたら、みんなはどうする？」

「ペッパー君が困っていたら、迷わず助けるよ。どんなことがあっても助けるよ。」と自信をもって言っていた子どもたちの気持ちは、「知らない人」と聞いた途端に揺れ動きました。

「知っている人や友達だったら助けるけど…」  
「知らない人だったら、緊張するし、不安だし、恥ずかしいし、声かけられないよ。」  
「いくら知らない人でも、困っているんだから助けなきゃいけないと思う。」  
「助けたいとは思いますが、怖い人かもしれないし、思ってもできない。」

町の人たちが、いろいろな方法で、困っている人たちを助けていることを、ペッパー君から教えてもらいました。

最後の振り返りの場面で、4年生のある子が、こんな発言をしました。  
「ぼくは、今、困っている人がいたら必ず助けた方がいいと思っています。」

この子は、はじめ、「助けたいとは思いますができないかもしれない」と、発言していました。しかし、ペッパー君との授業が深まるにつれ、自分の考えが変わっていきました。

「私も手伝ってあげたい。」  
「つねに周りを見て生活したい。」  
「今のところは、練習のつもりで、学校の友達を助けてあげたい。」

優しい気持ちがクラス中に広がっていきました。「人のためになることを考えられる人になってほしい」というペッパー君の思いを、子どもたちは受け止めることができました。

ある中学校の先生から、こんな話を伺いました。この世には「3つ幸せ」があるそうです。1つは「してもらう幸せ」。2つめは「できる幸せ」。3つめは「してあげる幸せ」。そして、この3つめの「してあげる幸せ」が、最も大事な幸せと言われています。相手のためになることを「してあげる」ことで、自分が幸せになるということです。親切・思いやりの気持ちを行動に表せる人になりたいですね。

## クラブ活動開始

5月24日(月)から、今年度のクラブ活動が始まりました。本来ならば、子どもたちの希望に沿うクラブが開設されるのですが、コロナ禍にあるため、感染予防を第一に考え、昨年度と同じクラブが開設されます。

それでも、子どもたちは異学年の交流を楽しみにしています。

今年度開設のクラブは、以下の通りです。

イラストまんが・卓球・  
ボール・バドミントン・  
ダンス・コンピュータ・  
アウトドア・科学



## なかよし班編成再開

2年ぶりに、なかよし班が編成されました。

「なかよし班」とは、1年生から6年生までの異学年の子どもたちが、遊びや清掃活動等を通して交流するチーム編成のことです。

大きい子どもは小さな子どもをいたわり、守る。小さな子どもは大きな子どもに感謝し、憧れる。そんな関わりの中で、社会性を育て、自己有用感(自分は人の役に立っている)を育もうというのが、主な目的です。

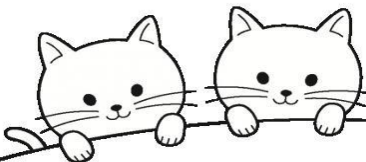
岡本小学校の伝統的な取組が再開しました。

## 26日夜空を見上げませんか

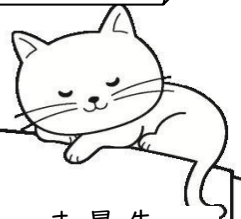
5月26日(水)の夜は、全国各地で皆既月食が見られます。皆既月食とは、月が地球の影にすっぽりと入る現象です。今回は、スーパームーンの皆既月食となります。

国立天文台によると、月は午後6時44分から欠け始め、皆既食は午後8時9分から午後8時28分までの約20分間続くそうです。最終的に部分食が終わるのは、午後9時52分ということです。

天気が心配ですが、今のところ(5月24日現在)予報は、晴れ時々曇り。スーパームーンでの皆既月食は1997年以来、つまりほぼ4半世紀前になります。「4半世紀後の自分はどんなことを考え、何をしているのだろう」未来に思いを馳せながら、明日の夜は空を仰いでみませんか。



わたしのひとりごと



私事で恐縮ですが、十二年飼っていた愛犬三太が、先日天に召されました。胃がんでした。大手術を終え、最後6回めの抗がん剤治療という矢先、がんが再発しました。

食べることが最大の楽しみだった三太が、日に日に食べられなくなる姿を見ることは、胸が締めつけられるつらい日々でした。医師も家族も成す術がなく、できることは、痛みや苦しみを少しでも緩和するため、毎日嫌がる薬を飲ませ続けることと、体を摩ってあげることくらいでした。

私にとって、三太は、わが子同然でした。仕事を終え家に帰ったとき、ちぎれんばかりにしっぽを振って出迎えてくれる瞬間、階段をトコトコ上がってくる小さな足音、「散歩に連れて行って」と首をかしげながら見上げるかわいらしい仕草……すべてが思い出にかわってしまいました。三太のことを思うと、いまだに涙々の毎日です。

### 命は限られた時間を生きること

### 一人ひとりこの世に生まれた意味がある

ふと目にした新聞記事に、こんな言葉を見つけました。人間ではない三太にも、この世に生まれてきた意味があることに気づきました。

三太は、いつも家族を結びつけてくれる大きな存在でした。親元を離れて暮らす子どもたちは、三太のこととあればすぐに飛んできてくれました。私たち家族にとって、なくてはならない大切な命でした。

一つの大切な命を見送り、改めて命の大切さを感じています。

自分の命、大切にしていますか？

あなたの周りの命、大切にしていますか？

私たちは限られた時間しか生きることができません。絶対に命を粗末にはなりません。